

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年4月1日(2022.4.1)

【公開番号】特開2020-127658(P2020-127658A)
【公開日】令和2年8月27日(2020.8.27)
【年通号数】公開・登録公報2020-034
【出願番号】特願2019-22240(P2019-22240)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月24日(2022.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設定値に応じた制御を実行可能な遊技機であって、
前記設定値の設定を許可するための設定許可状態に制御可能な設定許可状態制御手段と、
前記設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認状態制御手段と、
前記設定許可状態に制御されたことを特定可能な特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、

遊技に関するコマンドを送信可能なコマンド送信手段と、

30

可変表示を実行可能な可変表示手段と、

実行されていない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、

信号を出力可能な信号出力手段と、

前記コマンド送信手段から送信されたコマンドに基づいて演出を実行可能な演出実行手段と、

前記設定確認状態に制御されていることを報知可能な報知手段と、を備え、

前記設定許可状態の制御が終了したに基づいて前記特定情報が消去され、

前記特定情報記憶手段は、前記設定許可状態の制御が終了することなく当該遊技機への電力供給が停止されても前記特定情報を記憶可能であり、

当該遊技機への電力供給が開始されたときに前記特定情報記憶手段に前記特定情報が記憶されているに基づいてエラー報知を実行可能なエラー報知手段を備え、

40

前記設定許可状態に制御されるときに、前記保留記憶が初期化され、

前記設定確認状態に制御されるときに、前記保留記憶が初期化されず、

前記信号出力手段は、

前記設定許可状態に制御されているときに、特定信号を出力可能であり、

前記設定確認状態に制御されているときに、前記特定信号を出力可能であり、

前記設定確認状態制御手段は、当該遊技機への電力供給が開始されたときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、当該遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

50

前記コマンド送信手段は、前記設定許可状態に制御された場合と、前記設定確認状態に制御された場合と、前記設定許可状態及び前記設定確認状態の何れにも制御されなかった場合の何れの場合も、前記割込処理が実行される前に、前記設定値を示す設定コマンドを前記演出実行手段に送信可能であり、

前記設定確認状態に制御されていることについての報知は、前記設定確認状態に制御されているときに実行され、

前記特定信号は、前記設定確認状態に制御されてから前記設定確認状態への制御が終了し所定期間が経過するまで出力される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 に示すように、複数段階の設定値を外部からの設定変更操作に基づいて変更する設定変更手段を備える遊技機が提案されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号公報（段落 0 0 0 7）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献 1 に記載されたような遊技機では、設定値の設定を行う際に電力供給が停止された場合に、遊技機の状態を適切に報知する必要がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定値の設定を行う際に電力供給が停止された場合に、遊技機の状態を適切に報知することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

設定値に応じた制御を実行可能な遊技機であって、

前記設定値の設定を許可するための設定許可状態に制御可能な設定許可状態制御手段と、

前記設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認状態制御手段と、

10

20

30

40

50

前記設定許可状態に制御されたことを特定可能な特定情報を記憶する特定情報記憶手段と、
 遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
 遊技に関するコマンドを送信可能なコマンド送信手段と、
 可変表示を実行可能な可変表示手段と、
 実行されていない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、
 信号を出力可能な信号出力手段と、
 前記コマンド送信手段から送信されたコマンドに基づいて演出を実行可能な演出実行手段と、
 前記設定確認状態に制御されていることを報知可能な報知手段と、を備え、
 前記設定許可状態の制御が終了したに基づいて前記特定情報が消去され、
 前記特定情報記憶手段は、前記設定許可状態の制御が終了することなく当該遊技機への電力供給が停止されても前記特定情報を記憶可能であり、
 当該遊技機への電力供給が開始されたときに前記特定情報記憶手段に前記特定情報が記憶されているに基づいてエラー報知を実行可能なエラー報知手段を備え、
 前記設定許可状態に制御されるときに、前記保留記憶が初期化され、
 前記設定確認状態に制御されるときに、前記保留記憶が初期化されず、
 前記信号出力手段は、
 前記設定許可状態に制御されているときに、特定信号を出力可能であり、
 前記設定確認状態に制御されているときに、前記特定信号を出力可能であり、
 前記設定確認状態制御手段は、当該遊技機への電力供給が開始されたときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
 前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、当該遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
 前記コマンド送信手段は、前記設定許可状態に制御された場合と、前記設定確認状態に制御された場合と、前記設定許可状態及び前記設定確認状態の何れにも制御されなかった場合の何れの場合も、前記割込処理が実行される前に、前記設定値を示す設定コマンドを前記演出実行手段に送信可能であり、
 前記設定確認状態に制御されていることについての報知は、前記設定確認状態に制御されているときに実行され、
 前記特定信号は、前記設定確認状態に制御されてから前記設定確認状態への制御が終了し所定期間が経過するまで出力される、
 ことを特徴とする。

10

20

30

40

50

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

特開 2010 - 200902 号公報 (図 12) に示すように、遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能であり、設定変更前後の設定値に応じたキャラクタ画像を表示する遊技機が提案されている。特開 2010 - 200902 号公報 (図 12) に記載されたような、複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な遊技機に関しては、設定に関する示唆を行う演出が実行されたときに、遊技者が興味を感じるようにすることが好ましい。

本願の他の発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な遊技機に関する演出の興趣を向上させることを目的とする。

手段 A 1 の遊技機は、

有利度が異なる複数の設定値 (大当り判定用乱数の範囲が異なる設定値 1 ~ 6) のうちのいずれかの設定値に設定可能な遊技機 (パチンコ遊技機 1) であって、

遊技者にとって有利な有利状態（大当たり遊技状態）に制御可能な有利状態制御手段（CPU103）と、

前記有利状態（大当たり遊技状態）となることを示唆する予告演出（擬似連演出、カットイン予告演出、スーパーリーチ）を実行可能な予告演出制御手段（演出制御用CPU120）と、

設定に関する示唆を行う示唆演出（第3設定示唆演出、第4設定示唆演出）を実行可能な示唆演出制御手段（演出制御用CPU120）と、

第1表示（第1演出画像27TM100）を更新するとともに、前記第1表示とは異なる第2表示（第2演出画像27TM200）を更新する特定演出（分割演出）を実行可能な特定演出制御手段（演出制御用CPU120）と、を備え、

前記予告演出制御手段（演出制御用CPU120）は、前記第1表示（第1演出画像27TM100）に対応する予告演出（変動開始時演出決定処理において決定された当該変動表示の表示結果を示唆する擬似連演出、カットイン予告演出、スーパーリーチ）と前記第2表示（第2演出画像27TM200）に対応する予告演出（ムービー中の画像として擬似連演出、カットイン予告演出、スーパーリーチ）を実行可能であり、

前記示唆演出制御手段（演出制御用CPU120）は、前記第2表示に対応する示唆演出を制限する（第2演出画像27TM200が表示されている第2演出画像表示領域27TM200Aにおいては、変動パターンに対応した所定のムービーが再生されることになり、設定示唆演出は実行されない）

ことを特徴とする遊技機。

このような構成によれば、第2表示に対応する示唆演出を制限することにより、示唆演出が実行されたことに伴う遊技者の混乱を防止して、示唆演出の興趣を向上させることができる。

手段A2の遊技機は、

手段A1の遊技機であって、

前記予告演出制御手段（演出制御用CPU120）は、前記第1表示（第1演出画像27TM100）に対応する予告演出の態様と、前記第2表示（第2演出画像27TM200）に対応する予告演出の態様を異ならせることが可能である（擬似連演出の実行回数（2回と1回）、カットイン画像の態様（「大チャンス！！」と「チャンス！」）、及び、スーパーリーチ中に出現するキャラクタ（キャラクタBとキャラクタA））

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50